

# 令和元年度 公益財団法人焼津市振興公社事業報告

## 1. 総括事項

公益財団法人焼津市振興公社は、定款第3条の目的を達成するため、令和元年度において概ね次のような事業を行いました。年度末には、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、いくつかの事業を中止又は延期いたしました。

### (1) 地域文化の振興（公益目的事業）

焼津文化会館及び大井川文化会館ミュージコでは、新たな指定管理業務受託初年度を迎え、市文化振興計画に基づき、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会を広く市民に提供するとともに、市民の芸術文化活動を支援するため芸術文化事業を鑑賞型、市民参加型、普及・協働型と位置づけ、バランスよく積極的に実施しました。

事業の実施については、市民の要求と経済性を考慮した上で良質な事業を企画し、他の団体・機関との共催を含め73本（焼津46本・大井川27本）の芸術文化事業を行い、多くの市民の鑑賞・協力・参加を得て、好評を博しました。また、若年層に良質な文化催事を提供するため学生支援事業や乳幼児育児中家族を対象としたコンサートも開催しました。個別事業内容については、焼津文化会館分は27～29ページ、大井川文化会館ミュージコ分は33～34ページに記載いたしました。

芸術文化事業の公演情報を広く周知するため、焼津文化会館・大井川文化会館ミュージコ統一情報紙「いべにゅ」を志太・榛原地区を中心に新聞折込にて毎月1回発行しました。

#### 1 鑑賞型

国内外の優れたクラシック、芸能・演芸、ポピュラーなど多彩な事業を展開しました。

クラシックでは、「前橋汀子ヴァイオリンリサイタル」「シンフォニエッタ静岡演奏会」「秋川雅史コンサート」「次田心平テューバ・リサイタル」「NAOTO&清塚信也アコースティック・デュオコンサート」等を開催しました。

芸能・演芸では、「爆生!!お笑い!in焼津」「DRUM TAO」「HARAイリュージョンマジックショー」「清水ミチコ トーク&ライブ」等を開催しました。

ポピュラーでは、「大黒摩季」「布袋寅泰」「川中美幸コンサート 2019」「純烈コンサート」等を開催しました。

#### 2 市民参加型

市民の文化活動の促進と地域文化の活性化を図るため、ワークショップや市民自らが公演に参加・出演する事業を展開しました。

アマチュアコンサートでは、「日本とモンゴル国の伝統楽器子どもコンサート」「第28回ミュージコ吹奏楽フェスティバル」「第28回ミュージコピアノマラソン」等を開催しました。

ポピュラーでは、ボランティア団体サポートクラブの協力を得て「ロビーコンサート」等を開催しました。

### 3 普及・協働型

普及を目的に無料講座、無料公演など市民に広く芸術文化に親しんでいただく事業を展開しました。

映画では、「なつかしの映画劇場」を開催しました。

ポピュラーでは、「0歳前から乳幼児へ贈る」等を開催しました。

天文科学館においては、利用者に充実した科学教育の機会を提供し、天文や科学に対する興味・関心を高めることを心掛けた事業展開に努めました。個別の事業内容については、38～40 ページに記載いたしました。なお、エレベーター工事のため、12月2日から1月7日まで使用を中止しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月4日から31日まで臨時休館いたしました。

#### 1 学校連携事業

利用団体（小中学校）の希望を受け、科学工作を体験できる「わくわくワークショップ」21件、学校の希望に応じた出張講座を23件実施したほか、総合学習10件19人、職場体験学習3件9人を受け入れました。また、「宇宙の日」全国小中学校作文絵画コンテスト（絵画の部）では、323点の応募があり、科学館表彰式並びに応募作品の展示を行いました。

#### 2 児童生徒への理科支援事業

結成3年目となる「日本宇宙少年団焼津分団」は、20人の団員により日帰り研修旅行を含め、年間10回の活動を行いました。また、毎年好評を得ている「小学生のための星空教室」や「夏休みの理科自由研究相談会」も実施しました。

史上初めてブラックホール撮影に成功した国立天文台水沢VLBI観測所所長の本間希樹氏を招いた「子ども宇宙教室2019」は2回講演の両方とも満席となり、大変好評でした。また、学習指導要領改訂に合わせ、昨年度に続いて実施した「ロボットをプログラムしよう！」も好評で、定員を上回る応募があり、参加者が積極的に取り組む姿が見られました。

静岡大学との共催で、今年度初めて開催した「静岡STEMアカデミーin焼津」では、科学・技術・工学・数学を軸として、児童・生徒の理工学分野への興味・関心、探究心を高めるとともに、研究活動への取り組みや課題解決のプロセスを学べる場を提供しました。

#### 3 生涯学習支援事業

星空案内人資格認定講座「大人のための天文教室+（プラス）」の3年目となる今年度は、星空案内人10人、準案内人18人の資格認定を行いました。また、日本最大のすばる望遠鏡の建設や観測に携わった国立天文台名誉教授の家正則氏を招いた「天文科学講演会」と「サイエンスカフェ」では、天文や宇宙に高い関心を持つ多くの参加者に満足していただきました。さらに恒例のサイエンスフェスティバルにも多数の方が訪れ、様々なブースの体験を通

じて科学に親しむ機会を満喫していました。

#### 4 天文台事業

夏休みに「スター・ウィーク特別観望会～木星を見よう～」を開催し、65 人の参加者がありました。今年度は、天候に恵まれず、予定していた「名月と土星を見る会」と「部分日食観察会」が中止となったほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響もあり、毎週土日の夜の星空観望会も実施率が低く、参加者数が昨年度を大幅に下回りました。

#### 5 プラネタリウム事業

「生解説プラネタリウム」では、観覧者に紹介してもらいたい誕生日星座を 1 票ずつ投票してもらい、上位 1、2 位の星座について見つけ方や見所などを紹介する「誕生日の 12 星座総選挙！」や、アポロ宇宙船の月面着陸 50 周年であることから、クイズ形式で身近な天体の月について紹介する「アポロ宇宙船月面着陸 50 年 クイズでめざせ！月博士！！」など 4 本の番組を制作・投影しました。また、高精細 CG 投影機を活用した「CG ドームシアター」では、学校長期休業期間やゴールデンウィーク、秋の連休中などの時期に子供たちに人気のアニメ番組を投影するとともに、大人を中心とした利用者層には「CG ドームシアター・ヒーリング」の投影枠に“癒し”をテーマにした番組を投影し、好評を得ました。

さらに、特別番組として「プラネタリウムで教えて！宇宙なぜなに質問箱」「秋彩-AKIIRO- 星空に響く二胡の調べ Vol. 5」や「聖夜の歌声 プラネタリウム X'mas コンサート」など、様々な切り口から天文に触れる機会の提供に努めました。「団体投影」では、県立焼津青少年の家との連携が進んだこともあり、一般団体・幼稚園団体向け投影をはじめ、小中学校の担当教諭との事前打ち合わせを基に 110 件を超える学習投影を実施するなど、前年度を上回る団体数となりました。

#### 6 展示・体験室事業

季節ごとにテーマを変えて 4 本の特別展を開催しました。特に、忍者の身体能力をテーマに忍法修行をモチーフとした「ニンニン忍者道場」と「光」をテーマとして、LED の光による演出や、光り輝く展示物を楽しむ「遊べるイルミネーション まっくら遊園地」がたいへん好評で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため約 1 カ月間臨時休館しましたが、前年度比で約 5,700 人の増加となりました。

#### 7 情報発信事業

情報紙「DISCOVERY」を年 4 回、市内及び近隣市町の全小学生等に配布しました。また、季節ごとに制作するプラネタリウムパンフレットには、投影する番組や星図を掲載し、わかり易さと内容の充実を図りました。

さらに、ホームページ、ツイッター、フェイスブックにより、運営情報や天文科学情報の発信にも努めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となった 3 月中旬からは、特別企画「おうちでやってみよう！」をホームページで公開し、自宅で楽しめる工作レシピや天文情報を発信しました。

## (2) 公の施設等の管理運営の受託（公益目的事業、収益事業）

焼津市の文化芸術の拠点施設である文化センターの施設管理と焼津、大井川両文化会館の運営、天文科学館の管理運営、ディスカバリーパーク焼津内の公園・広場の維持管理を受託しました。

両文化会館及び天文科学館の施設運営につきましては、市民の様々な要求と期待に添うことができるよう、複合施設としての機能を生かすとともに、弾力的、効果的な運営に努めました。その結果として、年間利用者が、焼津文化会館では 214,172 人、大井川文化会館では、88,085 人、天文科学館では、有料入場者が 5 年連続で 12 万人台を超え、130,078 人となりました。

館別利用者数については、焼津文化会館が 30～32 ページ、大井川文化会館が 35～37 ページ、天文科学館が 41～42 ページに記載いたしました。

ディスカバリーパーク焼津の公園においては、樹木・芝の定期的な手入れや、公園清掃を実施しました。また、屋外水飲み場の給水管水漏れ修繕及び、中央駐車場陥没部の修繕を行いました。

## (3) 物品販売事業（収益事業）

公社の安定財源確保のため、管理施設内の自動販売機 20 台による飲料等の販売及び天文科学館の売店にて天文グッズ等の販売を実施しました。

自動販売機については、屋内外に設置することで来館者の利便性向上を図りました。

また、天文科学館の売店については、特別展等のタイアップ商品をはじめ、星座早見や組み立て望遠鏡、実験キットなど天文・科学への興味を喚起する商品や学習に役立つ書籍等を取り扱うことで事業との相乗効果を図りました。

<附属明細書の作成について>

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附則明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。